

お知らせ

資料提供先 鳥取県政記者会
鳥取市政記者クラブ

殿ダムの渇水調節効果について（速報）

殿ダムの渇水に対する効果についてお知らせします。

効果その1：約1ヶ月間の渇水を防止

効果その2：約2週間の瀬切れを防止

殿ダムは、千代川の支川である袋川に建設された多目的ダムで、洪水調節による下流の洪水被害の軽減、工業用水・水道水の補給、水力発電、及び渇水調節による下流の渇水被害の軽減を目的として、今年の4月より本格的な管理運用が開始されています。

殿ダム流域では7月13日から約1ヶ月間に渡り大規模な降雨がありませんでした。この影響により袋川の水量が減少していることから、渇水の影響が出ないように殿ダムはダム湖からの補給量を増やして対応しています。

これにより、ダム湖の水位は低下していますが、袋川の宮ノ下地点（鳥取市国府支所付近）では一定の水量を維持しており、約1ヶ月間の渇水と約2週間の瀬切れを防ぐことが出来たと推定されます。

～8月22日現在の殿ダムの貯水率は約54%となっています。～

今後の降雨の状況では、殿ダムの水位低下は一層進むと想定されますので、皆様も水を大切にお使いいただくようお願いします。

問い合わせ先

国土交通省 中国地方整備局 鳥取河川国道事務所

TEL 0857-22-8435（代表）

FAX 0857-29-1819

【担当】 副 所 長

いぬやま ただし
犬山 正

【担当】 殿ダム管理支所長

なだわき あつろう
灘脇 篤郎

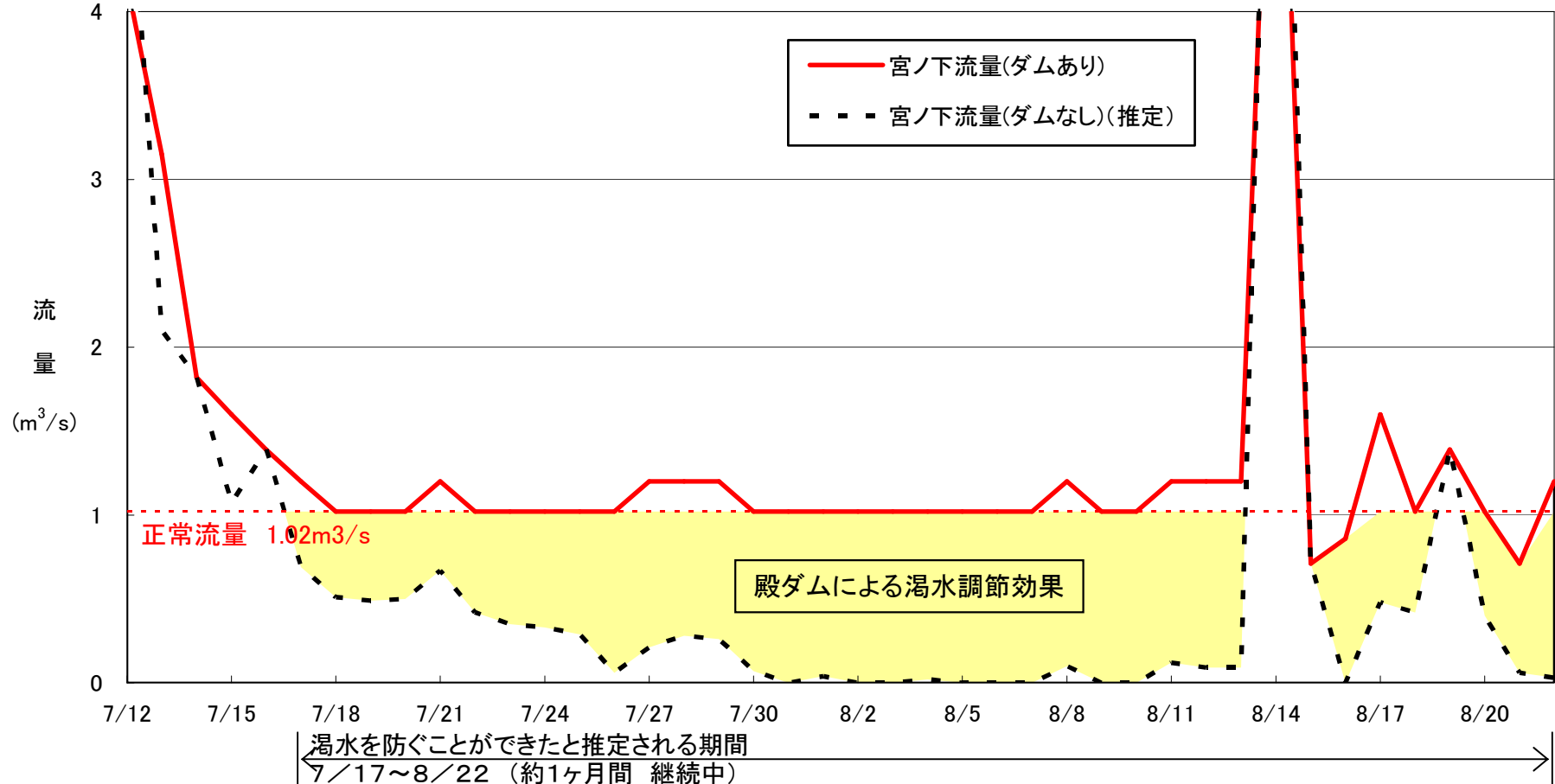
鳥取河川国道事務所ホームページアドレス

<http://www.cgr.mlit.go.jp/tottori/>

平成24年7月から8月中旬における殿ダム渇水調節効果について【速報】

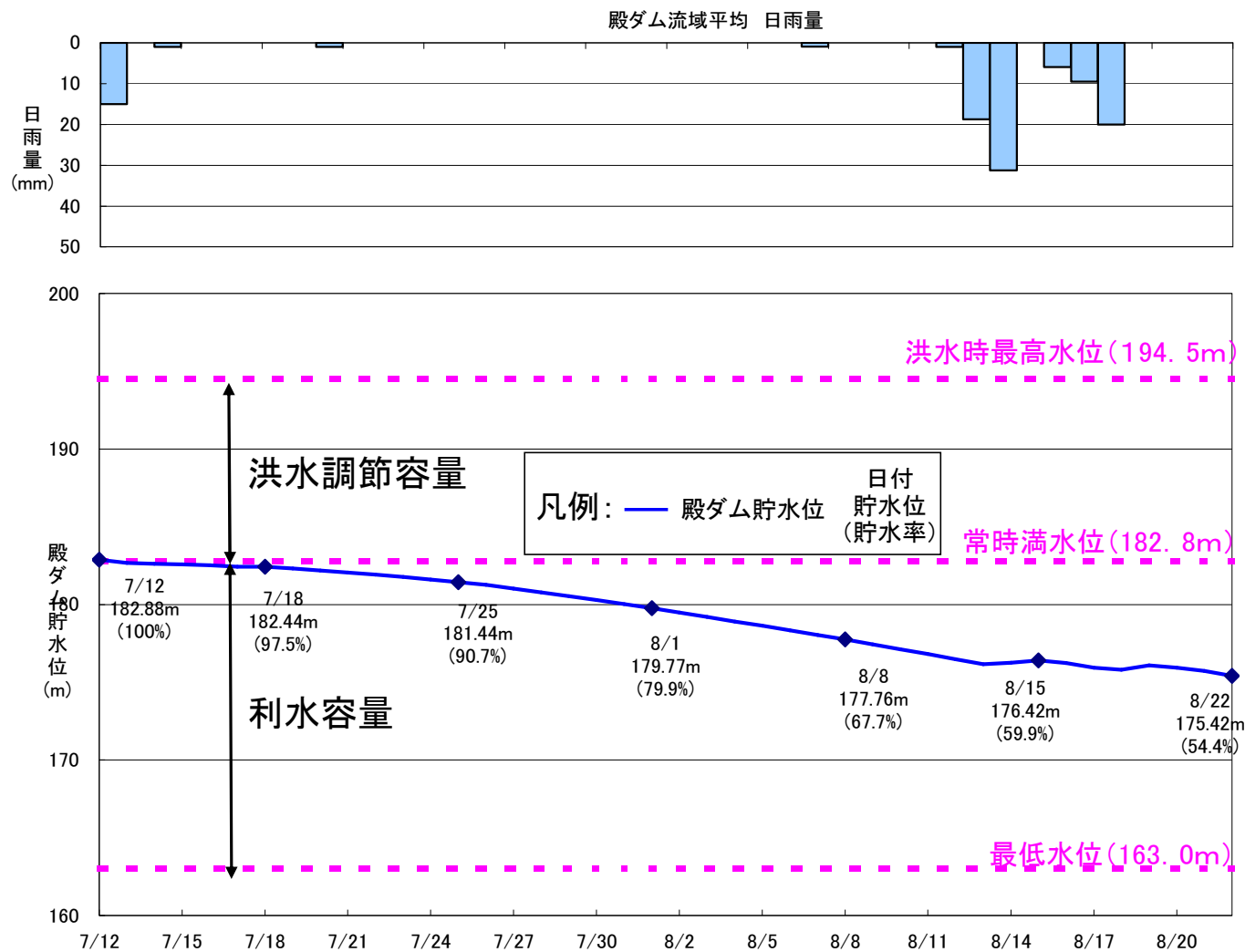
殿ダム流域では、7月13日から約1ヶ月間に渡って大規模な降雨がありませんでしたが、殿ダムによる渇水調節効果で、宮ノ下地点(ダム下流約10km付近)において、正常流量(1.02m³/2)を確保し続けることができました。
この効果によって、約1ヶ月間の渇水と約2週間の瀬切れを防ぐことができたと推定されます。

宮ノ下地点における平成24年7・8月の殿ダム渇水調節効果



※正常流量: 流水の正常な機能の維持に必要な流量

平成24年7月から8月中旬における殿ダム貯水位の変動と降雨状況



平成6年8月 鳥取市玉鉾橋付近(ダムなし)



平成24年8月 鳥取市玉鉾橋付近(ダムあり)